

# 男女共同参画センター登録グループ紹介コーナー

## 今回は【おじさんきっちんきしわだ】のみなさんです



### ①活動のきっかけは？

昨年、男女共同参画センターで、3回シリーズの「男のええ加減料理」講座が開催されました。

講師は、常盤地区公民館で活動されている「男のええ加減料理」クラブのみなさん。

「石狩鍋」「カレー」「煮込みハンバーグ」を作りました。その時の参加メンバーの間で「3回限りではなく継続的に続けていきたい！」という声が多く出ました。

そこで、「おじさん きっちん きしわだ」として活動することになりました。

### ②活動内容は？

今年4月から、男女共同参画センター登録グループとして、毎月第1日曜日の10時から13時まで活動をしています。現在メンバーは10人。毎回メンバーの1人が交替で先生役となります。先生役は、他のメンバーの前で料理を作りながら手順を説明します。その後、メンバー各々が調理をします。料理をするのも、片付けるのも、メンバー全員が各々やります。メニューは、「男のええ加減料理」（土鍋ひとつで作れる料理が紹介されているレシピ本）から先生役の人が料理したいものを選んでいきます。

### ③活動のテーマ、大切にしていることは？

活動のテーマは「料理を楽しもう！」です。

大切にしているのは「気楽に」「楽しく」「わきあいあい」です。

### ④これから取り組んでみたいことは？

美味しくできた時の喜びや満足感は最高です。そんな料理の楽しさをみなさんにも知って頂けるように、男女共同参画センターや市内の公民館で料理講座を開催してみたいです。

### ⑤最後にひとこと！

今回このような形で我々の活動を知って頂く機会を頂き大変嬉しいです。実は、この原稿を書いている今日は、妻が仕事で不在ということで、晩ごはんは私に託されています（笑）。

今日は「さば缶を使ったマーボ豆腐」と「キャベツナムル」、そして「中華たまごスープ」にしようと思っています。いざ、挑戦！



## 講座レポート

### 「お話とコーヒーを楽しむ会 配偶者の呼称 ～あなたはどんなふうに呼ばれたいですか？～」

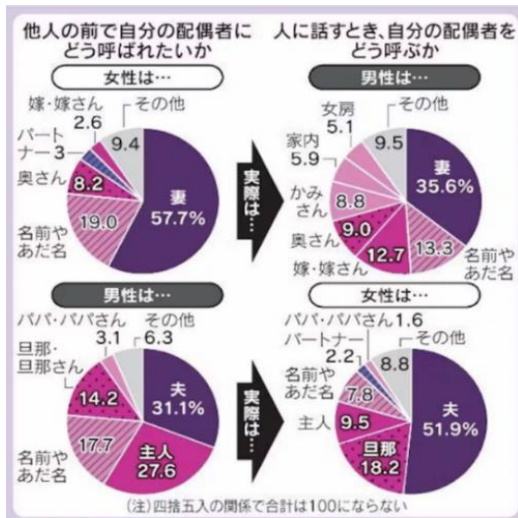
開催日：5月14日（日）

講師：中村まゆみさん・中村佳太さん

「大山崎 COFFEE ROASTERS」共同経営

呼び方/呼ばれ方をテーマにそこに潜む固定概念など講師おふたりの体験談をお話いただきました。

メディアの取材を多く受けられるお二人。記者は夫の佳太さんだけに視線を向けて話をされたり、ふたりで話し合っ始めたお店なのに、「ご主人」の佳太さんが決断し、それを受け入れた「奥さん」という思い込みや前提で話してこられたそうです。また、取引先も佳太さんが店主という思い込みで接してこられたそうです。



まゆみさんが電話にでると、毎回「オーナーさんいますか」と尋ねられるそうです。佳太さんはそのことに全く気付いていませんでした。

なぜなら自分はそんなことを言われた経験がないから。佳太さんが電話にでると相手はオーナーが電話に出たとそのまま話を進めるので、まゆみさんがそういう経験をしていることに気づかなかったそうです。

ふたりで話し合い、勉強し、行動、発信していくうちに周囲の理解も広がっていったそうです。

また、自分の配偶者の呼び方についてや他人のパートナーの呼び方についての統計資料、呼び方の語源なども紹介していただきました。

左のグラフをご覧ください。

他人の前で自分の配偶者にどう呼ばれたいかの希望と、実際の呼ばれ方に女性・男性それぞれに差があることがわかります。



講師資料より（引用：日経新聞2023年3月27日）

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE272JHOX20C23A1000000/>